

時代の進化やビジネス規模の拡大に伴い、サイバー攻撃も飛躍的なスピードで過激化・多様化しています。すべての端末が、メールの添付ファイルを開いたら感染する従来のウイルス・マルウェアに加え、WEB サイト閲覧時の感染や、内部拡散をするランサムウェアなど多数の脅威にさらされています。

感染・侵入を前提としたセキュリティ対策を行うことが大切です。

TiFRONT Hardware Spec

## TiFRONT ハードウェア仕様

TiFRONT-CS2710G		
製品外観		
インターフェース	最大ポート数	10
	10/100Base-TX	-
	10/100/1000 Base-T	8
	1000BASE-X SFP	2
	10G SFP+	-
処理能力	管理ポート (*1)	1
	コンソールポート (*2)	1
	最大スイッチ容量 (*3)	20Gbps
	最大スループット	29.76Mpps
	MAC アドレス登録数	16K
メモリ	フラッシュメモリ (*4)	512MB
	メインメモリ	512MB
PoE 規格	PoE	-
	PoE+	-
	UPoE (60W)	-
電源	最大給電可能電力	-
	定格電圧	AC100 ~ 240V (50/60Hz)
	最大消費電力	13.36W
	電源冗長化	-
筐体	ケーブルロック	○
	サイズ [W x D x H]	220 x 220 x 44(mm)
	筐体タイプ	ハーフサイズ (1U)
	重量	1.4Kg
動作条件	USB ポート	○
	ファンレス対応	○
	温度	0 ~ 55°C
認証・その他	湿度	0 ~ 90% (結露のないこと)
	EMC 認証	VCCI (Class A)
	CC 認証	○
	IPv6 対応	IPv6 ready logo (Phase II)
	RoHS 対応	RoHS Compliance

\*1 管理ポートのインターフェースは 10/100Base-TX です。  
 \*2 コンソールポートのインターフェースは RJ-45 の RS232C です。  
 \*3 最大スイッチ容量はポート単位でのスイッチ容量です。  
 \*4 システム使用領域を含みます。  
 ■ 本製品スペックは TiFRONT CS シリーズ SPEC v1.0.5(2019 年 7 月) を基にしています。  
 ■ 製品スペックは予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### 販売元 トライポッドワークス株式会社

本社 〒983-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-1-41 カメイ仙台中央ビル 7F  
 TEL:022-227-5680(代表) FAX:022-227-5685

東京オフィス 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-8-3 室町 NS ビル 6F  
 TEL:03-6265-1890

URL : <http://www.tripodworks.co.jp/> ☐ [info@tripodw.jp](mailto:info@tripodw.jp)

開発元  **株式会社パイオリンク**  
 URL : <http://www.piolink.co.jp/>

お問い合わせは、

※ 記載の社名及び製品名は、各社の商標・商標登録です。当パンフレットの記載内容は、2020 年 1 月現在のものです。

# セキュリティスイッチ TiFRONT

クラウド管理型

## 不正通信のみを自動ブロック!



対象ポートを  
自動遮断  
ループ防止!

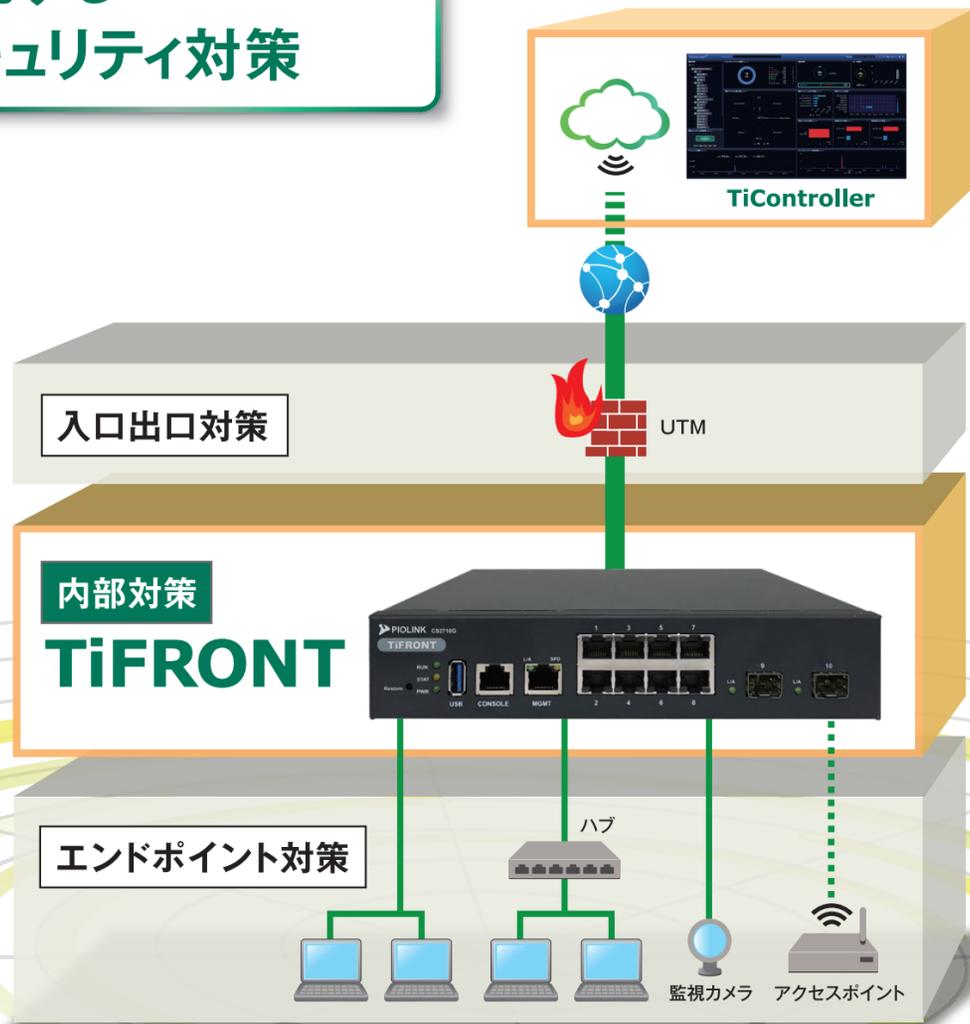
管理・工数不要の  
クラウド管理!

L2スイッチベースの  
ネットワーク  
セキュリティ!

## サイバー攻撃を拡散させない 新感覚

# ネットワークレベルで実施するセキュリティ対策

## 多層防御の構築



**シグネチャーベースの限界**

すり抜けられる

脆弱性の多いIoT機器

古いOS

**侵入を検知して通信を遮断する感染を前提とした対策が必要!!**

# TiFRONT セキュリティスイッチ 機能

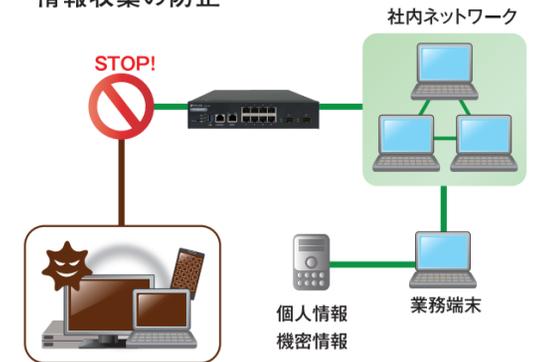
## 内部拡散防止

ランサムウェアが拡散で使用するSMB通信を検知・遮断



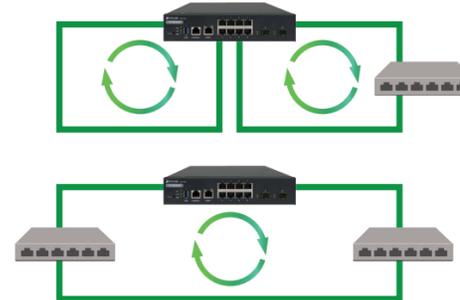
## 内部不正通信の遮断

情報収集の防止



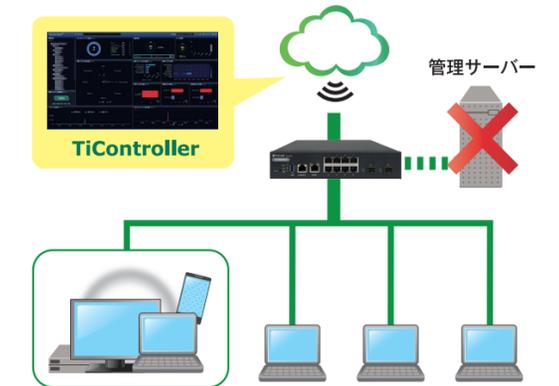
## ループの防止

セルフープ防止機能でネットワークダウンを防止



## 管理サーバー不要

場所を選ばず設置が可能



## 機器設定

ゼロタッチ インストール  
ケーブル接続で設定完了



## 一元管理

インターネット環境があれば  
クラウド上で一元管理

